

父母等のうち課税所得の多い方が請求者です。  
※休職等により、今現在は収入が逆転している場合でも、前年の収入が多かった方が請求者となります。  
( 1~5月に申請の場合は前年度課税所得  
6~12月に申請の場合は本年度課税所得 )

児童

厚生年金加入者は「ア. 被用者」  
国民年金加入者は「イ. 被用者でない者」  
※公務員の方は職場で 申請してください。

施設退所当により児童を養育  
するようになったとき

請求者	① (ふりがな)	益田市	性別	職業	⑤配偶者	有・無	※認定・却下年月日	令和	※支給開始年月	令和 年 月 日
	氏名 (法人名等)	○	ア. 被用者 イ. 公務員 ウ. 被用者等でない者				令和 . .		令和 年 月 日	
	⑥住所 (法人の主たる事務所の所在地)	〒 - ○○○○○○○○○		1月1日時点の住所 (1~5月分は前年、6~12月分は本年)		(左欄と異なる場合に記入してください)				
⑦個人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		⑧請求者の加入している種別		ア. 厚生年金保険 イ. 国民年金 ウ. その他 ( )		⑨所得の状況 (請求者)		令和 年 分所得額 (請求者) 記入不要	

共済組合に加入している場合は請求者の保険証の写しを添付してください。

配偶者等	⑩ (ふりがな)	氏名	○ ○ ○ ○	⑬職業	ア. 被用者 イ. 公務員 (勤務先: ) ウ. 被用者等でない者	⑭請求者の控除対象配偶者または同一生計配偶者の場合に○印	控除対象配偶者 記入不要 同一生計配偶者	⑮個人番号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
	氏名	○ ○ ○ ○	⑬職業						

・監護相当...生活に必要な世話(定期的な面会や連絡含む)をしているか  
・生計費の負担...食費、家賃、学費等の負担があるか

⑯児童の兄姉等 (18歳に達する日以後の最初の3月31日から22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者)	氏名	続柄	生年月日	監護相当の有無	生計費負担の有無	令和 年 月 日	⑰「監護相当の有無」及び「生計費負担の有無」がいずれも「有」の場合は、本請求書と併せて「監護相当・生計費の負担についての確認書」を添付してください。 兄姉等と⑰児童の合計人数が3人以上の場合に	※算定対象の場合に○印
	○ ○ ○ ○	子	平成 ○.○.○○	有・無	有・無	同・別		

18歳~22歳(大学生年代)の児童がいる場合にご記入ください。  
※監護相当の有無・生計費の負担の有無がどちらも「有」で、⑯欄と⑰欄の合計人数が3人以上の場合は【監護相当・生計費の負担についての確認書】の添付が必要です。

⑰児童	氏名	続柄	生年月日	監護相当の有無	生計費負担の有無	令和 年 月 日	※児童との関係該当する場合に○印	※第3子以降の場合に○印	※3歳未満の場合に○印	※左記以外の場合に○印	※手当月額
	○ ○ ○ ○	子	平成 令和 ○.○.○○	有・無	同一・維持	同・別	・未成年後見人 公同指定者	(月額30,000円)	(月額15,000円)	(月額10,000円)	円
	○ ○ ○ ○	子	平成 令和 ○.○.○○	有・無	同一・維持	同・別	・同居父母	(月額30,000円)	(月額15,000円)	(月額10,000円)	円
	○ ○ ○ ○	子	平成 令和 ○.○.○○	有・無	同一・維持	同・別	・未成年後見人 公同指定者	(月額30,000円)	(月額15,000円)	(月額10,000円)	円

児童が別居している場合は「別」に○をし、住所をご記入ください。  
※【別居監護申立書】の添付が必要です。

養育している18歳以下の児童についてご記入ください。  
・児童が実子の場合は監護「有」、生計「同一」に○  
・児童が請求者の実子でない場合は監護「有」、生計「維持」とし、【養育事実申立書】を添付してください。

振込口座を指定する場合は請求者名義の口座情報を記入 (請求者名義以外の口座は登録不可)  
※郵送申請の場合、口座の写しを添付してください

いずれかに✓

⑱支払希望金融機関	名称	預金種別	支店コード	支店名	口座番号	口座名義	※合計月額
	銀行 金庫 信組 農協 漁協	普通・当座					円

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。 ※印の欄は、記入しないでください。字は、楷書(かいしよ)ではっきり書いてください。